

## 「プロポーザルのあり方に関するワークショップ」実施要項

- 名 称：福島県建築設計協同組合  
「プロポーザルのあり方に関するワークショップ」
- 背 景： 近年、建築士事務所を取り巻く環境は、社会情勢や社会制度の移り変わりにより大きく変化してきています。  
また、入札制度の見直しや発注者ニーズの多様化などにより、当組合へ求められる役割も変化してきています。現在の当組合の受注状況について見ると、プロポーザル方式による担当者選定及びその運営を前提とした受注が増加しております。さらに、基本構想及び基本計画からの受注（発注）にも期待が寄せられています  
そのような中、組合内部における担当者選定（プロポーザル等）のあり方について、組合員から多くの意見が寄せられています。
- 目 的： 組合員相互の情報共有を深めるとともに、多様な意見の収集を図り、「プロポーザル等委員会」での議論・検討に反映し、多くの組合員が参加しやすく、より透明性の高い設計者選定（プロポーザル等）方法を確立していくことを目的とします。
- 開催日時：平成29年10月13日（金）16：00～18：20
- 場 所：福島県民の森「フォレストパークあだたら」（レクチャーホール）
- 人員計画：定員40名（6テーブル×6～7名）
- 手 法：ポストイット方式によるワークショップ
- テ ー マ：1. 提案書のあり方に関すること  
（視点）①提案書作成期間  
②失格・無効条項（具体的表現の許容範囲等）  
③提案書様式（技術提案、取組体制、業務実績等）  
④その他
2. 審査及び審査員のあり方に関すること  
（視点）①審査員構成及び選定  
②審査会の公開  
③審査方式（合議制、点数制等）（書類審査、ヒアリング）  
④その他
- プログラム：16：00 集合  
16：05 開会、あいさつ  
16：10 基調講演（30分）  
【演題】仮)プロポーザルのあり方に関する考察  
～ 審査員の視点から～  
【講師】公立大学法人 会津大学短期学部  
教授 柴崎 恭秀 氏  
16：40 ワークショップの進め方説明（5分）  
16：45 グループワークショップ（60分）  
17：45 グループ発表（30分）  
18：15 まとめ（5分）  
18：20 閉会